

みずほCustomer Desk Report 2023/05/17号 (As of 2023/05/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	136.05
TKY 9:00AM	136.02	1.0874	147.91	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	136.69	1.0904	148.50	1.2530	0.6702
SYD-NY Low	135.68	1.0855	147.61	1.2545	0.6709
NY 5:00 PM	136.39	1.0862	148.18	1.2466	0.6651
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,012.14	▲ 336.46	日本2年債	▲0.0600%	▲0.0100%
NASDAQ	12,343.05	▲ 22.16	日本10年債	0.3900%	▲0.0200%
S&P	4,109.90	▲ 26.38	米国2年債	4.0832%	0.0748%
日経平均	29,842.99	216.65	米国5年債	3.5283%	0.0589%
TOPIX	2,127.18	12.33	米国10年債	3.5405%	0.0339%
シカゴ日経先物	29,885.00	5.00	独10年債	2.3395%	0.0325%
ロンドンFT	7,751.08	▲ 26.62	英10年債	3.8150%	0.0010%
DAX	15,897.93	▲ 19.31	豪10年債	3.4440%	0.0450%
ハンセン指数	19,978.25	7.12	USDJPY 1M Vol	10.20%	▲0.46%
上海総合	3,290.99	▲ 19.75	USDJPY 3M Vol	9.95%	▲0.37%
NY金	1,993.00	▲ 29.70	USDJPY 6M Vol	10.14%	▲0.21%
WTI	70.86	▲ 0.25	USDJPY 1M 25RR	▲1.63%	Yen Call Over
CRB指数	259.89	▲ 1.76	EURJPY 3M Vol	9.62%	▲0.27%
ドルインデックス	102.56	0.13	EURJPY 6M Vol	10.03%	▲0.22%

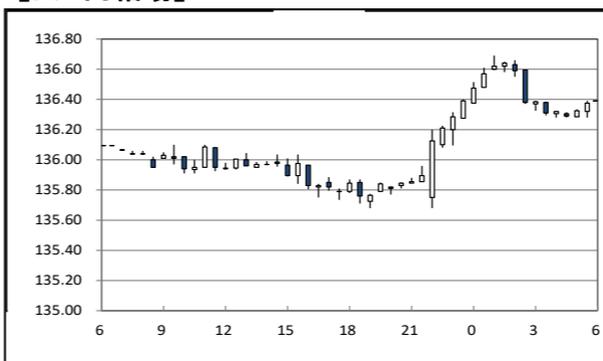
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月16日	18:00	欧 ZEW景気期待指数	5月 -9.4	-
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	1Q 0.1%/1.3%	0.1%/1.3%
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	4月 0.4%	0.8%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	4月 0.4%	0.4%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	4月 0.5%	0.0%

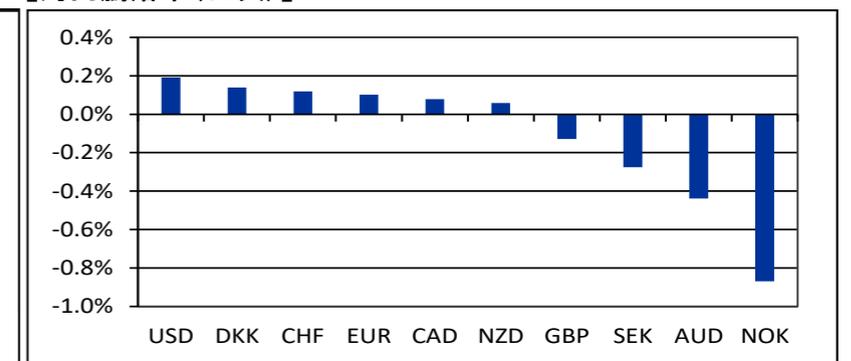
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月17日	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	4月 0.7%/7%	0.7%/6.9%
	18:00	欧 コアCPI・確報	4月 5.6%	5.6%
	21:30	米 住宅着工件数	4月 1400k	1420k
	21:30	米 建設許可件数	4月 1430k	1430k
	21:30	米 住宅着工件数(前月比)	4月 -1.4%	-0.8%
	21:30	米 住宅建設許可(前月比)	4月 0.0%	-7.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.70-137.00	1.0800-1.0920	147.50-148.80

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は上昇する展開。米債務上限問題の先行き不透明感からクロス円の下落とともに、ドル円は海外時間序盤に安値135.68まで下落。NY時間に入り発表された米4月小売売上高が自動車・ガソリンを除いたコアで予想を上回るとドル買いが強まり、高値136.69まで上昇し、136.39レベルでクローズ。  
本日のドル円は方向感が出づらく、レンジ内で小動きか。今週に入り136円を中心に上下1円程度の値動きに留まっている。ドル円は米金融政策の次の一手が明確になるに連れて方向感が出そうだが、今後のデータ次第で追加引き締め・当面据え置き両方の可能性あり、しばらくは上下両サイドを意識しつつ、経済指標の内容を見極める展開となりそう。基調としてはタイトな雇用環境と根強いインフレで追加利上げが観測高まる可能性あり、ドル円の下値は堅いと見る。一方で米債務上限問題を巡る不透明感から、積極的にドルの上値も追いつらく、結果的にレンジ内での値動きに留まりそう。

東京	東京時間のドル円は136.02レベルでオープン。前日に米国債務上限問題に関して、イレン財務長官より最速で6/1にデフォルトの可能性と言及されたことで、一段と警戒感が高まり、本日は米金利低下・ドル売りの流れ。一時136.10まで上昇するも、実需からの売りフロー等も入り長続きせず下落。結局、135.98レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、135.98レベルでオープン。全般にドル売りの中、午後に米指標を控えてドル円は動意薄。135.86レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0866レベルでオープン。ドル売りに押され1.0904まで堅調に推移。ユーロ圏第一四半期GDP速報値は予想通りだった一方、独5月ZEW期待指数が予想以上のマイナスとなると勢い続かず1.0887レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は136円台前半でスタート。イレン米財務長官が再び米債務上限問題に言及し、「時間がなくなりつつある。議会が行動しないため、日ごとに経済コストが増加しており、米経済が減速しかねない」と発言し、依然先行きの不透明感が警戒され、上値重い展開。クロス円の下落も相まって、じり安で推移し135.86レベルでNYオープン。朝方に発表された米4月小売売上高が予想を下回り、発表直後は135.68まで売られるも、売り上げのコア指数は予想を上回っており、直ぐに136円台に戻す。続いて発表された米4月鉱工業生産も予想を上回り、ドル買いが強まり136.69まで値を上げる。午後はウイリアムズ米ニューヨーク連銀総裁の「経済はより正常なパターンに戻り始めている」、「需給のバランスが取れてきた」等の発言が上げ幅を抑え、136.30付近まで反落する。その後は横ばいでの推移が続き、136.39レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。ユーロ圏主要株式市場の堅調な展開につれ高となる。その後、ユーロ圏第一四半期GDP(速報)が発表されるも、予想通りの数値となった事からユーロドルへの反応は限定的。直後に1.09台に回復するも、その後伸び悩み1.0887レベルでNYオープン。朝方は先述の米経済指標の内容を受け、ドルが買われる中、1.0855まで下落する。午後は米金利上昇が重しとなり、1.0870近辺での推移後、1.0862レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山岸・逸見